

相模総合補給廠における火災に係る調査報告について

相模原市長 加山 俊夫

昨年8月の事故発生以来、市としては原因究明を求めてきたところであるが、結果として昨年12月の中間報告に引き続き、今回の報告においても火災の原因が特定されなかったこと、また、本日まで1年以上という長い期間を要したことは、遺憾である。

一方、本市の要請に基づく立入確認が、米軍立会いのもと本日実現したことについては一定の評価をしたい。

今回のような事故が二度と起きないように、米軍においては、基地内の安全対策について万全の対策を講じてもらいたい。

今後とも、市民の安全・安心の確保の観点から、万一、事故や事件が発生した場合には、速やかに必要な措置がとられるよう、米軍や国に対して、引き続き強く要請してまいりたい。